

第18回 ちゅうでん教育振興助成（平成30年度）

報告書資料 一般 - 100

学校名・団体名	防府市立富海小中学校
コース	学校支援
活動・研究のテーマ	グローバル・コミュニケーション科における授業の研究

〈活動・研究の意義および活動報告〉

本校は、平成21年度に「英語教育改善のための調査研究校」の指定を文科省から受けて以来、小学校1年生から外国語活動の授業を取り入れるなど、英語教育に力を入れてきた。そして、平成30年度から小中一貫教育校としてスタートすることに伴い、小1から中3まで9年間を通して学ぶ「グローバル・コミュニケーション科」（以下G・C科）を新設した。本科では、外国語活動・外国語科の学習を基礎としながら、各教科や総合的な学習の時間等で学んだ内容や体験をもとに、「英語を使って積極的に自分の思いや考えを伝える子ども」の育成をめざしている。

初年度に当たる今年度は、年間指導計画を検証しながらよりよい授業づくりをすることを研究目標に掲げ、取り組む。G・C科だけでなく、各教科、総合的な学習の時間などすべての教育活動において、「積極的に自分の思いや考えを伝える」児童生徒を育成していく。そして、G・C科において、学んだことを英語を使って発信するという活動をしていくことで、児童生徒の「伝えたい」という意欲をさらに高め、児童生徒が英語を実践的に使えるようになることを目的に全教員が授業研究を行う。

〈活動・研究報告〉

1 グローバル・コミュニケーション科の授業時数

小学1・2年生は生活科から1時間を、小学3年～中学3年生までは、総合的な学習の時間から1時間をそれぞれ充てている。そのため、G・C科は生活科や総合的な学習の時間の特性を合わせもった教科として、目標や評価の観点を設定した。

各学年のG・C科と外国語科（外国語活動）の授業時数

	小1	小2	小3・4	小5・6	中1～3
グローバル・コミュニケーション科	34	35	35	35	35
外国語科（小：外国語活動）			35	70	140

2 活動内容

(1) 小学1年生（7名）の活動

- ・主な内容：あいさつ、フルーツ、色、形、スイーツ、クリスマス、顔や体の表現を学ぶ。園児との交流会、全校英語劇。
- ・ALTを招いて英語交流（期日：平成30年12月1日）参観日に、県内の6名のALTを招いてスイーツのレストランごっこを行った。May I help you? ○○, please. Here you are. などの英語を使い、注文を取ったり注文したりする活動をALTや保護者と一緒に楽しんだ。



(2) 小学2年生（10名）の活動

- ・主な内容：あいさつ、動物、色、形、数、スポーツ、アルファベットの表現を学ぶ。できるようになったことを伝える。全校英語劇。
- ・研究授業（期日：平成31年1月30日）「アルファベットの形や読み方を知り、ゲームを通して慣れる」ことをねらいとし、小・中教員が参観した。



(3) 小学3年生(11名)の活動

- ・主な内容：外国語活動で学んだゲームやコミュニケーション活動を一緒に楽しむための計画を立て運営をする。年4回の交流会。全校英語劇。
- ・地域の方と英語の歌発表(期日：平成30年7月4日)2回目の交流として、「It's a small world」を本校ALT エレナ教諭のギター伴奏に合わせて歌い、全校児童に発表した。



(4) 小学4年生(10名)の活動

- ・主な内容：市内で活動されている方々(外国の文化や生活を題材に講義・講演されている方)をゲストティーチャーに招き体験を通して学ぶ。セルビア出身のALTの先生からセルビアについて学ぶ。全校英語劇。
- ・1年間ALTから学んだセルビアのことをビデオにまとめ、市の交流センターで上映。(期日：平成31年2月22・23日)ALTから、民族舞踊を習い全校児童の前で発表したり、セルビアのピーマンを育てアイバルというソースを作ったり年間を通してセルビアの文化、食べ物、偉人について学んだ。また、学んだことをプレゼンにまとめた。



(5) 小学5年生(13名)の活動

- ・主な内容：日本の昔話を英語版で読み、好きな話を劇化して宿泊学習で発表。絵本をつくり、園児に読み聞かせする。全校英語劇。
- ・日本の昔話をアレンジしてオリジナルストーリーを作り、英語の台詞で演じ発表した。(期日：平成30年5月30日)2グループに分かれ、1つは「赤ずきんちゃん」を、もう1グループは「金の斧銀の斧」をアレンジした。それを英訳して英語で演じ、小5・中1の合同宿泊学習にて、中1生徒に発表した。



(6) 小学6年生(14名)の活動

- ・主な内容：修学旅行で外国人にインタビュー。アジアの国々の子どもたちが書いた絵日記を見て、興味や関心をもったことを調べる。日本の文化が感じられる絵日記を日本語と英語で書く。全校英語劇。
- ・社会科で学んだ国について英語クイズを作り、1・2年生とクイズ交流会を開く(期日：平成31年2月15日)社会科で調べた、中国、韓国、サウジアラビア、アメリカ、セルビアについてクイズを作った。多くの英語を使わせるためにはどうしたらよいか工夫し、1・2年生にも分かる英語で国旗や文化などについて出題した。



(7) 小学校全学年の活動

- ・全校英語劇を小中合同文化祭で上演(期日：平成30年10月21日)今年で10年目を迎える英語劇。今回は、「The Peach Boy~桃太郎 富海小バージョン~」に小学生全員で取り組んだ。富海小中学校のキャラクター「とのみん」も、桃と一緒に流れてきてみかんの中から生まれるというオリジナルストーリーを演じた。



(8) 中学1年生の活動

- ・主な内容：留学生を招待して、日本食と一緒に調理。日本の遊びを紹介。1年間の活動紹介ビデオ制作。
- ・県立大留学生との交流会(期日：平成30年12月14日)オリジナル英語カルタを制作、あやとりの仕方のプレゼンを準備し、留学生と一緒に楽しんだ。



(9) 中学2年生の活動

- ・主な内容：英語の歌や映画を和訳。日本の歌や映画を翻訳することで、日本文化を発信。
- ・日本のアニメを英語に翻訳、吹替を体験(期日：平成30年9月~11月)アニメ「クレヨンしんちゃん」から、日本らしさや日本文化が感じられるところを話し合っって見つけた。そして、その1場面を英語に翻訳し、吹き替えして発表するという活動を行った。



(10) 中学3年生の活動

- ・主な内容：英語を使って日本文化の認知度を調査し、結果を発信。富海の伝統文化を詳しく調べ、体験し、学んだことを英語で発信。
- ・修学旅行で日本の認知度インタビュー(期日：平成30年5月30日)日本の文化などについて、どれだけ外国人が知っているかという認知度インタビューを行うため、画像や質問したい内容などを準備。修学旅行地、京都でインタビューを行った。



3 成果と課題

児童・生徒は、外国の方と交流することを通してコミュニケーションを図れた喜びを感じたり、学んだことをまとめ発表する活動を通して伝える楽しさを味わったりすることができた。G・C科の授業に楽しみながら意欲的に取り組む様子が見られたことも成果だと言えよう。しかし、子どもたちが自分の思いや考えを積極的に伝えることができるようになったとは言い難い。外国語活動やG・C科だけではなく、すべての授業の中で自他の思いや考えを大事にし、相手意識を高めるような指導をしていくことが必要である。小学校の成果をどのように中学校で生かすか、また、中学校で生かすために小学校で何をすべきかなど小・中のつながりについて検討していくことが課題である。今後も教職員が一丸となり、工夫・改善を重ね、めざす子ども像に向かって日々の授業を大切にしていきたい。

